

2019 年度アジアフォーラム 21 シンポジウムを開催しました。

日 時：2020 年 2 月 18 日（火）14：00：～16：30  
場 所：山梨県立大学A館 6 階サテライト教室  
参加人数：約 30 人

## テーマと講師

### <基調講演 1>

留学生の受け入れの現状と今後の外国人受け入れの課題  
～外国人受け入れにあたっての壁とその克服～

講師 上田 一彦 氏 ユニタス外語学院、ユニタス日本語学校校長

### <基調講演 2>

甲府市における多文化共生事業について  
～外国人住民を対象にした取組～

講師 帯金 千春 氏 甲府市役所市民部市民総室市民課長

### <ディスカッション>

コーディネーター：吉田 均 氏 山梨県立大学教授  
パネリスト：上田 一彦 氏 帯金 千春 氏

## セミナーの概要

### <基調講演 1>

特定技能制度の導入を契機に外国人人材の受け入れに関する議論が活発になされている中で、受け入れに関する現状と制度的な課題等について講演をいただきました。

現在、日本国内においては、外国人在留者が約 280 万人まで増加し、山梨県内でも約 7,000 人が登録されており、留学生も約 1,100 人が在籍しています。これから、さらに世界の若者から長く選ばれる国になるには、生活基盤となる日本語教育を充実させ、外国人を孤立させないことが重要であるとの説明がありました。

また、受け入れる側である我々がパートナーとして外国人を受け入れていくことの必要性及びお互いの文化的な違いを認め合い、共に生きていく多文化共生の発想が大切であるとの話をいただきました。



### <基調講演2>

甲府市における外国人住民の現状についての説明に続き、甲府市多文化共生推進計画 2016 に基づいた各事業について紹介をいただきました。特に外国人住民への行政情報の提供については、10言語に対応したホームページや韓国語、英語、中国語に対応できる外国人相談員の配置及び音声翻訳システム「VoiceBiz」導入について説明をいただきました。

また、日本の文化を体験する事業として、日本文化に精通した甲府市職員が講師として開催した琴や書道などの異文化体験サロンや地域で生活する外国人のための日本語講座、避難所運営訓練などについて紹介していただきました。



### <ディスカッション>

基調講演後には、上田氏、帯金氏をパネリスト、吉田教授をコーディネーターとしてディスカッションを行いました。「外国籍の住民を受け入れるメリットの整理」「外国人受け入れに対する課題とその克服について」「今後、外国人と日本人がどのように地域社会で交流し、活動していくか」の3つのテーマについて、3人それぞれの視点から意見交換を行い、最後には参加者の皆様とも積極的な意見交換を行いました。

